

東吳大學 109 學年度碩士班研究生招生考試試題

第1頁，共2頁

系級	日本語文學系碩士班	考試時間	100 分鐘
科目	日語文	本科總分	100 分

※一律作答於答案卷上(題上作答不予計分)；並務必標明題號，依序作答。

一、配合題 共8題每題4分

下の例1～例8の文は正しくないのですが、その間違っただ理由の説明として、該当するものを枠内から選んで記号で答えてください。

- A：係る成分を受ける成分がない。
- B：同じ語句が重複して、文脈がねじれている。
- C：陳述副詞の呼応の誤り。
- D：謙讓表現を尊敬に使っている。
- E：尊敬表現の過剰。
- F：謙讓表現と尊敬表現を同時に使っている。
- G：区切りがはっきりしない。
- H：意味が二通りに解釈できる。

例1、宮殿で観光客の人気が高いのは歴代のスルタンがかき集めた金銀宝石をちりばめた宝物の数々と膨大な陶磁器コレクションに見るものは驚嘆する。

例2、窓際で、わたしは黙って思いに沈んでいる老人を見つめた。

例3、海外の出張先からおもどりになられましたら、一度ご連絡ください。

例4、それではまるで落第することを前提にして話を進めている。

例5、大学祭の模擬店を各クラブで決定し、9月10日までに決めてください。

例6、パンダのかわいい姿が焼き付けられる「パンダ・トースター」はお求めしやすい価格で10月下旬に発売される。

例7、社長は以前からこの事件について経緯を伺っていらっしゃいました。

例8、学園祭に学生が好きなタレントがやってきた。

二、選擇題 共12題每題3分

1、ほかと構文的特徴の最も異なるものを選んでください。

(A不良グループに金を脅し取られた。 B私の書いた作文が先生に褒められた。

Cわたしは13歳の時両親に死なれた。 D学校から帰る途中、彼女は犬にかまれた。)

2、例文の下線と同じような意味の慣用句を選んでください。

部長の若いころの話は面白いが、酒を飲むといつも同じ話をするので飽きていやになる。

(A鼻につく B胸がすく C顔が曇る D後味が悪い)

3、あの事故以来、彼女の気持ちは彼から離れて (Aいった Bきた)。

4、探していた本がやっと (A見つかった B現れた)。

5、一人暮らしをしていると、(Aむやみに B無性に) 母の味が恋しくなることがある。

6、結婚しようとしている二人に「人の気持ちは変わりやすい」などと (A鼻を明かす B腹を決める C身を固める D水を差す) ようなことを言うてはいけません。

東吳大學 109 學年度碩士班研究生招生考試試題

第2頁，共2頁

系級	日本語文學系碩士班	考試時間	100 分鐘
科目	日語文	本科總分	100 分

- 7、野良猫のくせに (A大きな顔をして B枕を高くして C駄々をこねて D囟に乗って) 家の縁側で昼寝をしている。
- 8、はじめてアルバイトをして、(A額に汗して B骨身を削って C腰を据えて D手を変え品を変えて) もらった金の充実感を味わった。
- 9、聞くとところによると、(A何かと B何なりと C何なら D何でも) あの人は財界の大物だそうだ。
- 10、頭の中に (A呆然 B唾然 C依然 D漠然) とあったことが、この講義を聞いてはっきりしてきた。
- 11、あなたから彼に私の気持ちを (A一概に Bまんまと Cそれとなく Dなんら) 伝えてくれませんか。
- 12、一人暮らしも (Aてんで Bまんざら Cよもや D何なりと) 悪くないよね。

三、問答題 (用日文作答) 共 2 題每題 8 分

- 1、デパートで買い物して、その商品を配送してもらえるかどうか、と聞いたら、若い店員は「はい、よろしいですよ」と答えました。
このような場面、「よろしい」の使い方は正しいですか。あなたの意見を述べてください。
- 2、次の文を首尾一貫した文にするには、どのように直せばよいでしょうか。また、この文の問題点についても簡単に述べてください。
「わたしは高校を卒業してから会社に入って、会社では総務の仕事をしていましたが、その後日本語を勉強して通訳になろうと思って日本に留学することになって、私の学部は外国語学部です。」

四、日文中譯 共 2 題每題 8 分

- 1、この相手への配慮は、会話である以上当然のことであるが、それが日本語の場合は接続表現といういわば文法的な機能語によって表されている。
英語の場合は語よりも音声的な表現で表されるのではないかと思われるが、それは今回の分析では明らかにすることができなかった。
この点については今後も研究を続けると同時に、音声学的研究の成果を待たなければならないと考える。 (水谷信子『続日英比較話し言葉の文法』より)
- 2、家事と授業は共通点が多いように思います。料理と洗濯と掃除を一定時間内にやり終えなければならない、というような行動を私たちは、ほとんど毎日やっています。そのような時どういう手順でやれば能率的か、何と何を同時進行させるかというようなことを考えながら動きますが、これは授業時間内に複数の活動をこなすための時間配分を確かなものにさせてくれます。ことに料理は家事の中でも創造的な仕事です。お客様を招くことになったとします。メニューをあれこれ考えますが、いくらおいしいものを食べさせたいという意気込みがあっても、メインになる料理が何品もあつたらお客様の胃に負担をかけることになります。授業でも同じだと思います。 (清ルミ『創造的授業の発想と着眼点』より)